

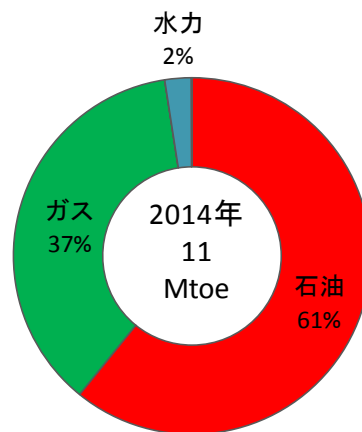
## 4-9 シリア

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 11 百万 toe (日本の 0.02 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2014年) : 0.49toe (日本の 0.14 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 52%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 27.6 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 2.3%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 1.24 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 13.3%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : 原油 100 年以上、天然ガス 66 年

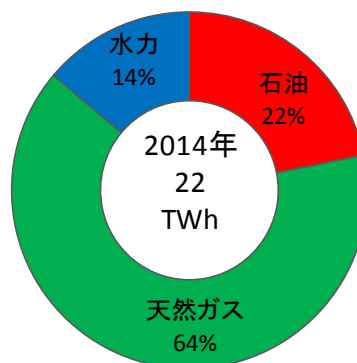
一次エネルギー供給構成 (2014 年)



Country: Syria

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014 年)



Country: Syria

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- 石油・ガスに関しては、石油鉱物資源省 (MPMR) が全体を統括している。同省の下、2009年に石油産業の再編のなかで一般石油公社 (GPC) が設立され、すべての上流国営企業を管轄している。また、下流部門については公立石油機構と公立石油精製・石油製品流通機構が管轄している。
- 水利は、灌漑省 (Ministry of Irrigation) が担当しており、Euphrates 川等にダムを建設している。これらのダム式発電所は、Euphrates 川流域を灌漑省の下部組織であるユーフラテス・ダム公社 (General Establishment for the Euphrates Dam : GEED) が、それ以外を灌漑省が直轄で管理している。
- 原子力については、1998年にシリア原子力委員会 (Syria Atomic Energy Commission : SAEC) がロシアとの間で原子力平和利用協定を結び、原子力研究センター (Atomic Energy Research Center : AERC) を設立した。
- 電力と再生可能エネルギーは電力省 (Ministry of Electricity : MOE) が管轄する。また、一般電力送電機構 (General Establishment for Electricity Transmission) が送電システムを管轄している。

### (2) 基本政策

- 2011年の内戦発端以降、原油・ガスともに生産量は漸減している。上流については、シリア石油公社 (Syrian Petroleum Company: SPC) がロシアや中国など外資を導入して、探鉱・開発を推進している。

### (3) 最近の動向

- 「アラブの春」以降、国内の al-Assad 政権と反政府勢力の対立が激化し、「内戦」状態が継続している。EU は 2011 年 9 月、対シリア制裁として石油・石油関連製品の輸入を禁止した。その後 2013 年 4 月に反体制派側からの原油購入を認める決定をした。
- 国内の対立に加えて、反政府勢力の過激派組織「イスラーム国」(IS) が勢力を拡大し、al-Assad 政権と対峙している。「イスラーム国」は掌握したシリア国内の油田・製油所から生産された原油・石油製品を密売し、その資金源にしていると言われている。
- シリア国内で操業している外資系石油開発企業は、内戦の影響で操業を停止している。
- 「イスラーム国」によるガスパイプラインや送電網、発電施設の攻撃により、電力供給に問題が生じている。そのため、全国で電力供給の時間制限が導入された。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2011年以降のシリア情勢により、緊急・人道的性格の援助を除き、シリアに対する新規の経済協力の実施を見合わせることにしている。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Syrian Arab Republic

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		11 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.49 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.20 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		52 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		27.6 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		1.24 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	61 %
	天然ガス	61 %
	原子力	0 %
	水力	2 %
	再生可能エネルギー等	-0 %
(8) エネルギーの輸入依存度		48 %
(9) 石油の輸入依存度		79 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸入先	第1位	-
	第2位	-
	第3位	-

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA